

まちの魅力づくりに貢献する舗装デザインに関する研究

(一社)インターロッキングブロック舗装技術協会 会長 中村 俊行
(一社)まちの魅力づくり研究室理事・東京大学名誉教授 堀 繁

2019年6月5日
一般財団法人 国土技術研究センター 研究開発助成 成果報告会

1

「まちの魅力づくりに貢献する舗装デザインに関する研究」

- ・「魅力を作っての集客」によって地方都市の活性化を図りたい
- ・資源の有無に左右されず、それはどこでも可能な方法であること
- ・まちは道と沿道で出来ているが、人は自分に近いものを遠いものよりも過大に評価するので、人に近い道がより重要
- ・人は大きく見えるものを小さく見えるものよりも過大に評価するので、道では大きく見える舗装がより重要
- ・人は形を認識・評価し、形のないものは認識できず、評価されない。2次元では形に相当するのは「ゲシュタルト」で、「無地」「地模様」は評価されない
- ・人は「丁寧」を高評価し「雑」を低評価するので、雑なゲシュタルトは評価されない
- ・つまり、論理的には丁寧なゲシュタルトデザイン舗装でまちを魅力的に出来る
- ・舗装をやらないまちはないので、舗装更新時に丁寧なゲシュタルトデザインをやった損ということはまったく無い
- ・基礎自治体は以上のことを理解していないので、本研究ではわかりやすく解説する工夫が最も重要
- ・先進地でなぜ出来たのかをヒアリングから分析し、事業の進め方を整理する

2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20

「まちの魅力づくりに貢献する舗装デザインに関する研究」

- ・「魅力を作っての集客」によって地方都市の活性化を図りたい
- ・資源の有無に左右されず、それはどこでも可能な方法であること
- ・まちは道と沿道で出来ているが、人は自分に近いものを遠いものよりも過大に評価するので、人に近い道がより重要
- ・人は大きく見えるものを小さく見えるものよりも過大に評価するので、道では大きく見える舗装がより重要
- ・人は形を認識・評価し、形のないものは認識できず、評価されない。2次元では形に相当するのは「ゲシュタルト」で、「無地」「地模様」は評価されない
- ・人は「丁寧」を高評価し「雑」を低評価するので、雑なゲシュタルトは評価されない
- ・つまり、論理的には丁寧なゲシュタルトデザイン舗装でまちを魅力的に出来る
- ・舗装をやらないまちはないので、舗装更新時に丁寧なゲシュタルトデザインをやった損ということはまったく無い
- ・基礎自治体は以上のことを理解していないので、わかりやすく解説する工夫の検討が本研究で最も重要
- ・先進地でなぜ出来たのかをヒアリングから分析し、事業の進め方を整理する

21

「魅力的な舗装を整備するための事業の進め方に関する研究」 成果概要(ヒヤリング、現地調査)

横浜市(都市整備部企画課都市デザイン室)

- ・40年前(景観法、景観条例制定前)から主体的に関与。都市景観協議地区はデザイン室が関与して協議する。
- ・公共物件の事業、予算は事業主体(例えば土木事務所)が決定するが、可能な限り都市デザイン室のデーター(過去の事例)等を活用。
- ・景観重視の担当者がある場合等では都市デザイン室と連携。
- ・特別な場合にはデザイン室で予算確保が可能な体制になっている。
- ・特殊な場合(高度な案件、住民要望等)では、ワークショップを開くなどの対応。



元町商店街石畳車道舗装



歩道デザインとストリートファニチャ

22

新宿区(みどり土木課)(漱石山房通り)

- ・計画、材料等は片内で検討。今回は予算の関係で石畳からILブロックに変更。
- ・デザインは、メーカー3社によるデザインコンペを実施。
- ・デザインは、3案の中から沿道住民のアンケートにより決定。
- ・同じくアンケート調査では、多くの方が、明るく、歩きやすい舗装を要望。また、車のスピード抑制、歩行者の安全性の向上など、交通安全対策に関する意見も多く出された。



沿道状況(整備前)



漱石山房記念館前



沿道状況(整備後)

23

新東名・東名自動車道静岡岡内サービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)

- ・従来は建物設計を受注した建築コンサルが設計するが、今回は施主(中日本高速道路)が大学研究室の指導を仰ぎながら実施。
- ・デザインでは、歩行者の優先や歩行・溜まりの演出、舗装単品ではなく、空間内の全ての構成要素(建物、園地・ベンチ・植栽・築山・遊具など)との相互関係を配慮。
- ・過去に例のない、徹底的な空間デザインを実施するとの熱意で、チームリーダーが担当職員を従えて、デザイン作成から実施設計までを行った。
- ・舗装デザインの多くのパターンは、1/2スケールで出力し背を低くして観察し決定。
- ・デザインの専門家をインハウスで揃えるのは難しい面もあるが、「よいものとは何か?」、「よいものを作る」、「そのためには何をすべきか?」を理解し実践できる少数精鋭のチームを常に保有しておくことは他に例のない独創的なデザインを行う上では重要。
- ・基準やマニュアルよりは、空間デザインとホスピタリティ、空間操作と心理等について本質を理解し個々のデザインに行かせる教育と学習が必要。



滞在空間の表示(清水PA)

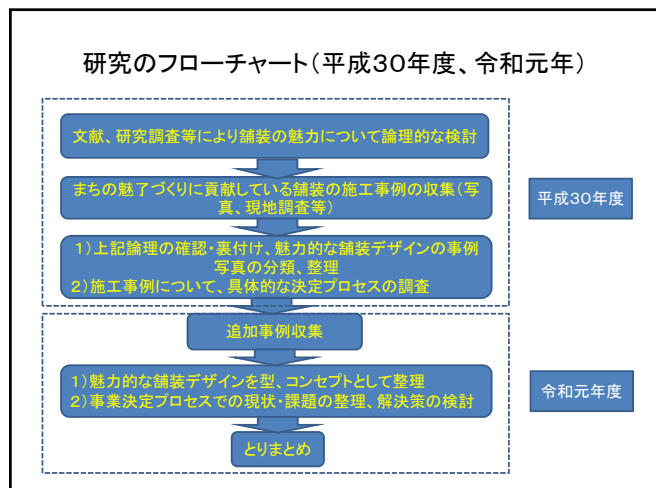


建物内への誘導(清水PA)

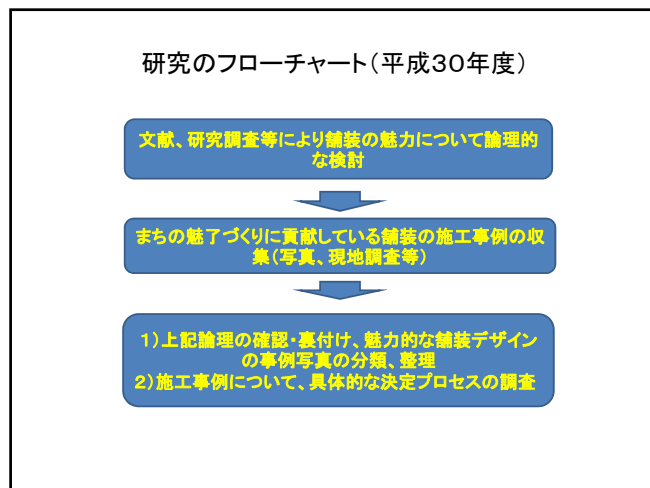


歩行空間と滞在空間の識別(駒門PA)

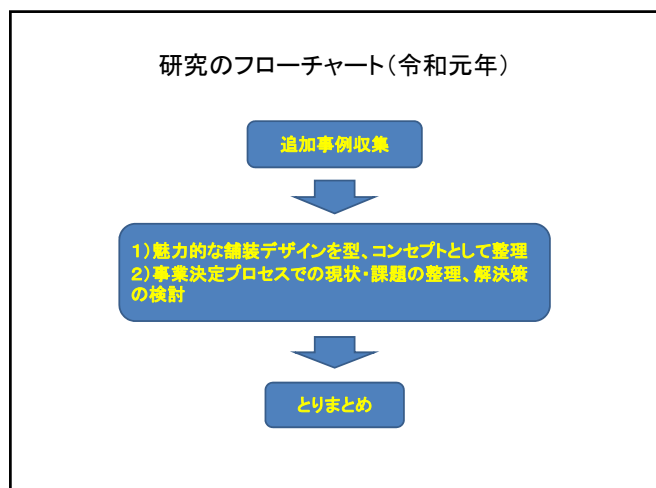
24



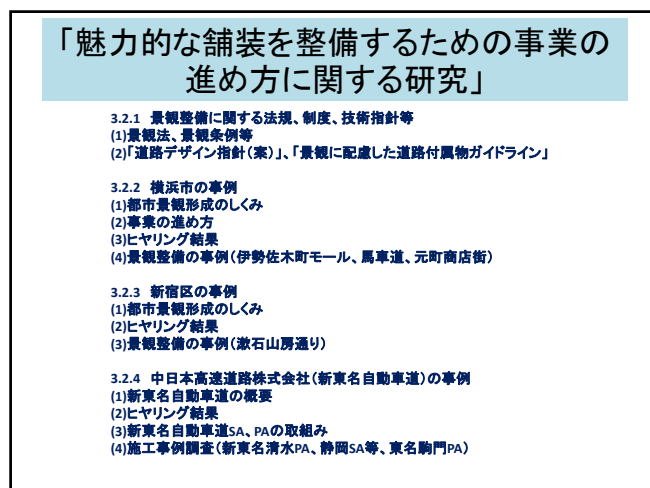
25



26



27



28



29